



先月は、暑かったり、涼しくなったりと体調を崩しやすい天候が続きました。

そんな天候にも負けず、それぞれの夏を元気いっぱいにご過ごした子ども達！日焼けをし、体つきもしっかりしてきてたくましさも感じました。

園では夏風邪の一種である、ヘルパンギーナが流行しました。また、道内では手足口病が警報発令中となっています。両方ともに夏に流行する感染症です。発熱・喉の痛み、水泡性の発疹・下痢・嘔吐などの症状に注意し、登園前の体調チェックをよろしくお願いいたします。

まだまだ夏の暑さも残り汗ばむ日もあると思います。手洗い・うがいを徹底し、脱水予防にしっかりと水分補給をして残暑を乗り切りましょう!!

## \*\*\*\*\*9月9日は救急の日\*\*\*\*\*

### ケガに繋がらない備えをしましょう

家庭内で起こりやすい事故として、誤飲があります。たばこの吸い殻・電池・薬等、危険なものは、子どもの手の届かない場所に保管することが基本です。また、お風呂で溺水も多くバスタブに水をためたままにしない、浴室には鍵をかけるなどの対策が必要です。

けして一人で浴室に入れないようお願いします。

子どもが今、どのくらいのこと出来るのかをよく知らないことから事故はおこります。ですから、自分の子どもの発育を知ることが最も大切です。

子どもは歩き始めると、走り出し、よじ登ったり、跳んだりとあっという間に成長し、いろいろなものに興味を持つようになります。

成長の著しい乳幼児期は一生のうちで最もケガの多い時期と言われています。

しかしこの時期はまだ、自分で身を守ることはできないため、大人はいつも注意を払い、子どもを事故から守りましょう。



## 事故対策と安全のしつけ5原則

- ① 子どもの習性を知る (好奇心、注意散漫など)
- ② 事故の80%は親の注意で防げる。
- ③ 危険防止は親が手本を見せ真似させる (言葉でなく行動で示す)
- ④ 危険のない環境を整備する
- ⑤ ケガをしたら、その経験から学ばせることが大切

### 😊目をたいせつに😊

7月、8月、くま組・きつね組のこどもたちは視力測定を行いました。その際、目を大切にすることについて看護師からお約束を伝えていました。

- ・絵本を見るときは、本と顔を腕の長さくらい離しましょう・TVや携帯ゲームは時間を決めて、続けてみないようにしましょう・テレビをみるときは画面から(2m以上)離れて見ましょう

お家では守れているでしょうか?そのほか、本・テレビなどは明るいうちでみる、長時間連続でみるのは避ける、目に異物が入る・かゆみがある時は、こすらず洗い流したり冷やしたりするなど、お子さんの視力を守るためにご指導をお願いします。

